

2026 年 10 月 15 日

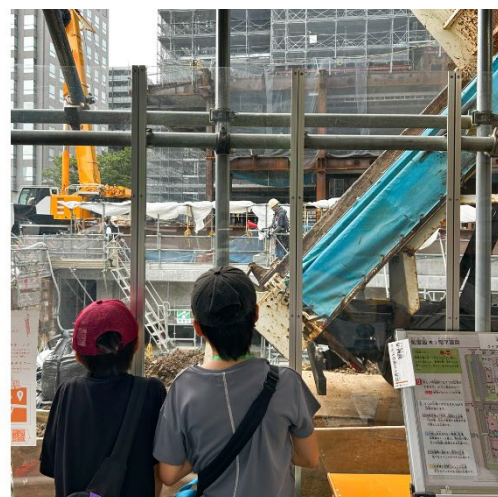
報道機関 各位

国立大学法人東北大学

「こども現場プロジェクト」が 2026 年度グッドデザイン賞を受賞 —仙台市役所本庁舎建替工事現場を子どもの遊び・学びの場に—

このたび、東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻の西脇智哉准教授らを中心に実施している「こども現場プロジェクト」が、「2026 年度グッドデザイン賞」を受賞しました。建設現場を安全にひらく空間と運営の仕組みを一体的にデザインし、継続的な学びの場として実践している点などが評価されました。

「こども現場プロジェクト」は、仙台市役所の本庁舎建替工事現場を活用し、子どもが日常的に立ち寄り、遊びながら建築や社会の仕組みを学ぶ場を創出する新しい試みです。一日だけの見学会を超えて、継続的に来場する子どもが建物をつくるプロセスを身近に体験し、理解を深める機会を提供しています。2026 年 3 月 27 日のオープン以降、子どもの累計来場者は 2,000 人を超え、繰り返し訪れる子どもも多くいます。2027 年 5 月まで、約 1 年間継続の予定です。



受賞情報

賞名 : 2026 年度グッドデザイン賞
事業主体名 : 東北大学大学院工学研究科「こども現場プロジェクト」
プロデューサー : 東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻 西脇智哉
ディレクター : 同大学院工学研究科 都市・建築学専攻 本江正茂
同大学院情報科学研究科 人間社会情報科学専攻 齋藤玲
デザイナー : 同大学院工学研究科 西脇智哉研究室 学生（上谷幸太郎、
伊藤尚哉、伊藤まろか、櫻井孝志郎、鈴木一真）
同大学院工学研究科 本江正茂研究室 学生（大滝望友、
吉住岳、菊池健吾、生天目千颯、及川純也、渡辺芽、
赤津秀和、石樽朱莉、中村天海、松木彩衣）
公開 URL : <https://www.g-mark.org/gallery/winners/35732>

審査講評

安全性の観点から閉ざされがちな建設現場を子どもたちに開き、単発の見学会ではなく、約 1 年間にわたる継続的な学びの場として設計した意欲的な取り組みである。建築がつくられる過程を知することは、建築そのものにとどまらず、資材の流れやエネルギーの使われ方、さらにはまちづくりへの参加など、多方面への関心を育む契機となる。安全な体験空間と運営の仕組みを一体的につくり、大学の研究チーム主導のもと、行政・施工者が連携しながらその効果を検証している点も興味深い。ここで得られた知見が他の建設現場にも応用されていく今後の展開にも期待したい。

代表者（プロデューサー）コメント

このたびの受賞を大変うれしく思います。プロジェクトの実現と継続にご協力いただいている大林組 JV、仙台市をはじめとする関係者の皆様に心より感謝いたします。実際に運営する中で、子どもたちが何度も足を運び、自分たちなりの楽しみ方や学び方を見つける様子を頼もしく感じています。建設現場と子ども、地域をつなぐ場として育てていきたいと思っています。

「こども現場プロジェクト」の詳細

2026 年 3 月 26 日 プレスリリース

「こども現場プロジェクト」のご案内

—仙台市役所本庁舎建て替え現場を、子どもの遊び・学びの場に—

<https://www.eng.tohoku.ac.jp/news/detail-,id,3507.html>

【問い合わせ先】

（受賞およびプロジェクトに関すること）

東北大学大学院工学研究科

准教授 西脇 智哉

TEL: 022-795-7864

Email: tomoya.nishiwaki.e8@tohoku.ac.jp

（報道に関すること）

東北大学大学院工学研究科 情報広報室

担当 沼澤 みどり

TEL: 022-795-5898

Email: eng-pr@grp.tohoku.ac.jp